

介護職員初任者研修

通信学習課題 例題集

〈注意事項〉

通信学習課題の問題と問題数については各都道府県の定める要領等に従って各事業所で判断して作成してください。

(株) QOL サービス

(8) 接触感染で起こるノロウイルス・腸管出血性大腸炎・疥癬・MRSAなどの主な対応例を記述しなさい。(5点)

--

(9) 介護職員に起きやすい健康障害である「腰痛」について、主な予防方法を4つ記述しなさい。(5点)

--

(10) 新聞、ニュースなどを見て、最近介護現場で実際に起こった事故・アクシデントを記述しなさい。(200字以上。新聞記事などの書き写しでも可)(15点)

--

通信学習課題2

氏名	判定	合格・不合格	採点者
	100点満点中		印

介護の基本

- (1) 下記の各文の正誤を判断し、()に○または×を記述しなさい。(各1点)
- () ①今後の介護の喫緊の課題は、地方で急増する団塊の世代の高齢化対策である。
 - () ②各自治体単位で基本的な医療が完結するようにシステム構築する「地域包括ケア」が進められている。
 - () ③無資格者も訪問介護に従事することができる。
 - () ④介護職の基本的役割は、要介護状態の人の手足となって、食事や排泄などのADLを手伝うことである。
 - () ⑤介護が目指すものは、食事、排泄、入浴など、ADLの支援である。
 - () ⑥介護には専門性はないが、常識が必要である。
 - () ⑦職業倫理とは、ある職業に就いている者が、その専門職として社会的役割、義務、責任を果たし、社会に貢献するために取るべき行動の基準・規範となる指標のことである。
 - () ⑧介護現場で3年以上勤務したものは、事業所の許可を得れば、介護福祉士を名乗ることができる。
 - () ⑨介護は利用者の情報なしに実施することはできないため、特に個人情報保護は必要ない。
 - () ⑩介護職として利用者のリスクマネジメントについて考える際は、身体面、精神面、社会面の3つの面に対して考慮する必要がある。
 - () ⑪人は、思いつく事故についてのみ事故対策が可能であり、思いつかない事故は防ぐことができないため、リスクマネジメントでは、まず、発生し得るさまざまなリスクを考えることが重要である。
 - () ⑫感染症の感染経路には、空気感染、飛沫感染、接触感染、血液媒介感染がある。
 - () ⑬自分の感情を抑えて明朗闊達かつ礼儀正しく対応することが求められ、感情に大きな負荷がかかる仕事を「感情労働」と呼び、介護職は旅客機の客室乗務員などと同様に感情労働の1つとされている。
 - () ⑭ストレスコーピングとは、他人のストレスを見ているうちに、自分にも同じように現れることをいう。
 - () ⑮前かがみの動作や要介護者の移乗など、重量がかかる動作が多いことなどから、介護職に頻発する疾患として「腰痛」がある。

(2) 日本介護福祉士会の倫理綱領の項目と概要を記述しなさい。(各5点)

項目	概要

(3) 介護現場で起こり得る利用者の身体面のリスク例を記述しなさい。(5点)

--

(4) 介護現場で起こり得る利用者の精神面のリスク例を記述しなさい。(5点)

--

(5) 介護現場で起こり得る利用者の社会面のリスク例を記述しなさい。(5点)

--

(6) 空気感染で起こる結核の主な対応例を記述しなさい。(5点)

--

(7) 飛沫感染で起こるインフルエンザ・風疹などの主な対応例を記述しなさい。(5点)

--

(12) パーキンソン病の症状詳細について記述しなさい。(5点)

--

(13) 変形性関節症について記述しなさい。(5点)

--

(14) 関節リウマチについて () に言葉を入れなさい。(各1点)

女性に () 倍多く発症し、30歳代以上の1%程度に発症するといわれている。主な症状は、() や関節痛【特に ()、()、() など】、()、()、()、環軸関節亜脱臼、易疲労性、全身脱力感、食欲不振、体重低下などがある。

(15) 認知症について () に単語を入れなさい。(各1点)

「認知症の行動と心理症状」のことを英語の頭文字4文字で () と表記する。比較的発症の割合が多い認知症は、()、()、()、() などがあがる。

(16) 高齢者とのコミュニケーションをとる上で難しいと思うところはどこですか。

200字以上240字以内で述べなさい。(15点)

--

通信学習課題4

氏名:	判定 合格・不合格	採点者
	100点満点中 _____ 点	印

介護におけるコミュニケーション技術と老化の理解

(1) コミュニケーションに関して下記の各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)

- () ①情報の伝達では、「情報を受け取る者が、どの程度情報を受け取る能力を持っているか」を理解し、考慮・配慮することが必要である。
- () ②利用者の話を聞く際には、相手に注意を向け、相手が伝えようとしていることを受容的、共感的な「傾聴」の立場で聞くことが重要である。
- () ③コミュニケーションの種類には、バーバルコミュニケーション(言語的コミュニケーション)とノンバーバルコミュニケーション(非言語的コミュニケーション)がある。
- () ④意欲低下を起こしている利用者・家族は少ないため、その原因は何なのかをコミュニケーションを通して把握しなければならない。
- () ⑤共感とは、同情や理解とは異なり、真に相手の立場になり相手の感情・思いを自分の物として感じることである。

(2) 介護職が利用者の家族とコミュニケーションを取る場合の留意点を10個記述しなさい。(各1点)

--

(3) ノンバーバルコミュニケーションの種類を9つ記述しなさい。(3点)

--

(4) 介護記録の意義・目的(情報の共有・証拠として・思考の明確化)について記述しなさい。(各5点)

情報の共有	
証拠として	
思考の明確化	

(5) 報告についての留意点を6つ記述しなさい。(各1点)

--

(6) 加齢に伴う変化について、膝が曲がる要因を4つ記述しなさい。(各1点)

--

(7) 高齢者に多い症状について、下記の各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)

- () ①加齢に伴い、運動機能の低下による無力感・羞恥心、感覚機能の低下によるストレスや疎外感、知的機能の低下による意欲の低下などが起こる。
 - () ②加齢に伴い、全身の伸展傾向が強まり、体幹・膝・股関節・肘関節などが曲がりにくくなる。
 - () ③高齢者は、基礎代謝の低下、活動量の低下、摂取エネルギーの低下などに伴い、全般的に体温維持機能が低下する。
 - () ④高齢者は、感覚や知能が鈍くなるため、うつ状態になる方はほとんどいない。
 - () ⑤食べ物などを口から胃に飲み込むことを嚥下といい、何らかの原因で胃から口に食べ物が逆流することを誤嚥という。
- (8) 高齢者に多い疾患について、下記の各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)
- () ①骨粗鬆症とは、骨の量が減り、骨折しやすくなった状態をいう。
 - () ②高齢者で骨折しやすい4大部位は、足首、大腿骨、手首、首である。
 - () ③虚血性心疾患とは、肺動脈が狭小化し、血流が低下した状態をいう。
 - () ④脳梗塞には脳塞栓と脳出血がある。
 - () ⑤高次脳機能障害には、見当識障害(失見当識)、記憶障害、注意障害などがある。

(9) 高齢者の筋力低下による動きと歩行、姿勢について記述しなさい。(2点)

--

(10) 誤嚥性肺炎について記述しなさい。(3点)

--

(11) 脳卒中について() に単語を入れなさい。(各1点)

脳卒中には、脳内に出血が生じる()、脳とくも膜の間に出血が生じる()、脳梗塞はさらに、心臓の弁膜などが流れ込み血管が詰まる()と、血管の傷が付いた部分などに徐々に血が固まり詰まる()に分類される。

(10) ノーマライゼーションの概念について記述しなさい。(6点)

--

(11) 遂行機能と遂行機能障害について述べなさい。(各5点)

① 遂行機能の要素を4つ記述しなさい。

--

② 遂行機能障害の症状とその内容について6つ記述しなさい。

--

③ 遂行機能障害のリハビリについて記述しなさい。

--

通信学習課題5

氏名:	判定 合格・不合格	採点者
	100点満点中 _____ 点	印

認知症の理解と障害の理解

- (1) 下記の各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)
- () ① アルツハイマー型認知症では、毎日同じ場所を徘徊するなどの時刻表的行動が特徴である。
 - () ② アルツハイマー型認知症では物盗られ妄想が見られることがある。
 - () ③ 脳血管性認知症は脳卒中発作後、1ヶ月以内に認知症症状が出現するのが特徴である。
 - () ④ レビー小体型認知症は、パーキンソン症状を併発することが多く、症状の変動が多いのが特徴である。
 - () ⑤ 前頭側頭葉変性症は、認知症の中で最も発生率が高く、ピック病なども含まれる。

(2) 認知症の方の尊厳を保持するケアにおいて、身体面、精神面、社会面それぞれの面に注意を払った対応例を各5つ以上挙げなさい。(各5点)

身体面	
精神面	
社会面	

(3) 認知症と健忘(物忘れ)の違いを記述しなさい。(5点)

	認知症	健忘
原因		
病気の自覚(病識の有無)		
記憶障害		
ヒントへの反応		
社会生活		
精神症状や行動障害		

(4) BPSDに対応する際、どのような心理・思考状況が症状発症に関与したのかを推測することが必要です。そのために必要な視点を3つ記述しなさい。(5点)

- () (5) 認知症の方への対応のポイント、コミュニケーションの取り方、介護の原則などについて、各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)
 - () ①ケアを提供する際、利用者を大切な一人の人としてとらえ、相手の尊厳を損なわないうようにかかわっていくことが重要である。
 - () ②ケアは平等に提供されなければならないため、一人ひとり異なった能力、性格などは考慮しなくともよい。
 - () ③認知症のケアでは、認知症として特別なレッテルを貼って扱うのではなく、尊厳ある一人の人として尊重し、かかわっていく「パーソン・センタード・ケア」が重要である。
 - () ④介護では課題解決型アプローチと目標指向型アプローチの両者が使われるが、より中心となるのは、目標指向型アプローチである。
 - () ⑤アルツハイマー型認知症では時の見当識障害が初期から出現する。
 - () ⑥アルツハイマー型認知症では、最近の記憶である近時記憶や空間認知の能力が低下しやすく、道に迷ったり、物事を覚えることができなくなるなどの症状が出現する。
 - () ⑦せん妄とは、身体疾患などが原因で引き起こされる軽い意識障害で、意識混濁に加えて幻覚、妄想、興奮などが加わった状態をいう。
 - () ⑧せん妄は、意識混濁のため、注意力低下、短期記憶障害、見当識障害などが見られ、認知症に比べて発症が急激で、日内変動が強いのが特徴である。
 - () ⑨アルツハイマー型認知症では、随意的な運動・活動が活発になるので予防活動は必要ない。
 - () ⑩認知症の方への対応では、そのときどきの様子や表情、視線や姿勢などの小さな変化に気づき、本人の気持ちを大切にすることが重要である。
 - () ⑪認知症の方は、コミュニケーション能力が低下し、他者とのコミュニケーションが苦手になるため、注意や工夫が必要である。

(6) 認知症の介護の基本視点を3つ記述しなさい。(各1点)

--

(7) 認知症の方への環境設定で留意する点や具体的な工夫の仕方などについて250～400字程度で記述しなさい。(20点)

--

(8) 認知症の方の家族への支援の視点を7つ記述しなさい。(5点)

--

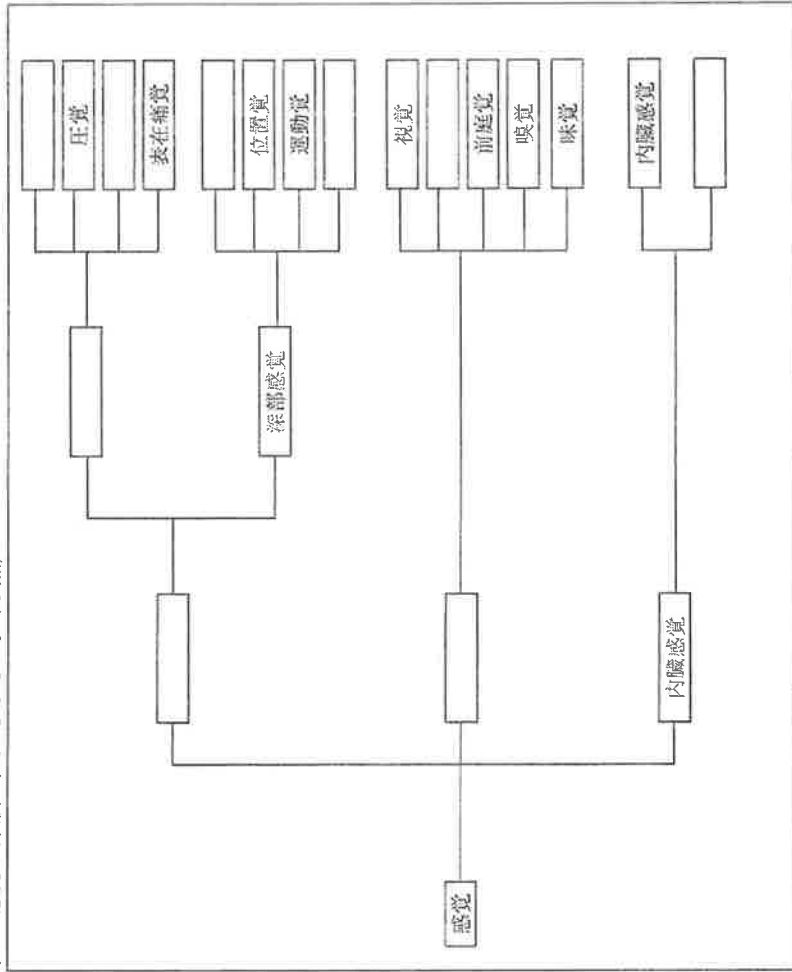
(9) () に単語を入れなさい。(各2点)

失認とは、視覚、触覚などの感覚機能は正常(ほぼ正常)にもかかわらず、大脳皮質の障害によって、対象物が正しく認識されない状態をいう。
具体的には、()、()、()、()、()などがある。

(3) 関節の可動域について () に単語を入れなさい。(各1点)

関節の可動域のことをROM (Range of Motion) という。
 関節可動域が低下した状態を ()、()、() という。
 拘縮とは、筋肉などの () (または関節包外部の組織) が原因で可動域が ()
 したものを指す。
 強直とは、骨や軟骨など非軟部組織 (または関節包内部の組織) が原因で可動域が低下したものを指す。

(4) 感覚の分類を記入しなさい。(5点)



(5) 唾液の働きについて7つ記述しなさい。(5点)

①本事例でA氏に必要と思われる介助内容を記述しなさい。(簡条書きなどで分かりやすく記入すること)(5点)

- 〈ADL〉
- 移動:
- 食事:
- 睡眠:
- コミュニケーション:
- 更衣:
- 排泄:
- 入浴:
- 整容:

〈IADL〉

〈趣味活動の創出〉

〈活動範囲の拡大〉

②本事例で行った方がよいと思う敷地内および家屋 (玄関、居室、トイレ、浴室など) の住宅改修 (環境整備) について5つ記述しなさい。(例:○○に○○を設置・○○の段差調整など)(各1点)

(16) 睡眠の意義・目的について5つ記述しなさい。(2点)

(氏名)

(6) 生活援助の目的とは何か。記述しなさい。(2点)

(7) 自立支援で大切となる視点を7つ記述しなさい。(5点)

(8) 下記の各文の正誤を判断し、() に○または×を記述しなさい。(各1点)

- () ①生活習慣は人それぞれで異なるため、本人の生活習慣、価値観、価値観を尊重した支援が重要である。
- () ②麻痺保持や座位姿勢の矯正のことをシーティングという。
- () ③乗車のポインントは、お尻を前方に移動し、足を引いて、手の位置を決めて、前傾を促しながら、お尻を動かすことである。
- () ④スライディングボードとは、移乗介助の福祉用具の1つである。
- () ⑤トイレでのプライバシー保護では、外部から排泄しているところが見えないようにカーテンなどで目隠しをすれば十分である。

(9) 移動・移乗とは何か、それぞれ記述しなさい。(各2点)

移動	
移乗	

(17) 下記の事例を読み、各問いに答えなさい。

〈事例〉
 A氏・80歳・男性・脳卒中左片麻痺・要介護度3・右利き
 30歳の時に結婚し、現在妻と二人暮らし。持ち家、子どもは長男夫婦が同じ市内、長女は沖繩、次女は京都にいます。
 病前は、夫婦で旅行に行ったり観劇に出かけたり、カラオケ歌ったり、カラオケに行ったりしていた。趣味は陶芸と囲碁、写真、食通だったので夫婦で外食によく行っていた。犬が好きで、以前は中型犬を飼っていたが2年前に死んでからは飼っていない。
 脳卒中は4年前発症、1年間入院してリハビリ施設。その後、2年間デイケアに通っていたが、今週からデイサービスに移った。

- 〈ADL〉** 移動 普段は車イス自走、杖・短下肢義具で歩行権内歩行約20m可能
 食事/自立 睡眠/自立 コミュニケーション/自立
 更衣/一部要介助(靴下・ネクタイ・ベルトなど)
 排泄/要介助(移乗時一部介助、ズボンの上げ下ろし、後始末要介助)
 入浴/要介助(浴室内移動、洗体、洗髪、浴室への出入りなど)
 整容/高齢き要監視(麻痺側に磨き残しなどがある)

〈IADL〉 ほとんど自分ではしない(妻がしている)

〈日中の過ごし方〉

デイサービスに週3回通うほかは、家の中でテレビを見て過ごすくらいであまり動かない。
 ボーっとしていることも多い。

〈本人の気持ち〉

最近家でじっとしているせいか、身体機能が低下している気がする。
 デイケアは、理学療法士(PT)がベッド上で手足の曲げ伸ばし(10分)と歩行訓練(杖歩行に後から付いてきてくれるだけ;約10分)で、他は何もしてくれなかった。毎日が楽しくない。妻が倒れたらどうなるのか不安。

〈妻の気持ち〉

最近ふさぎ気味なのが心配。今は自分ができるから良いが、最近体も少し疲れ気味なので心配。

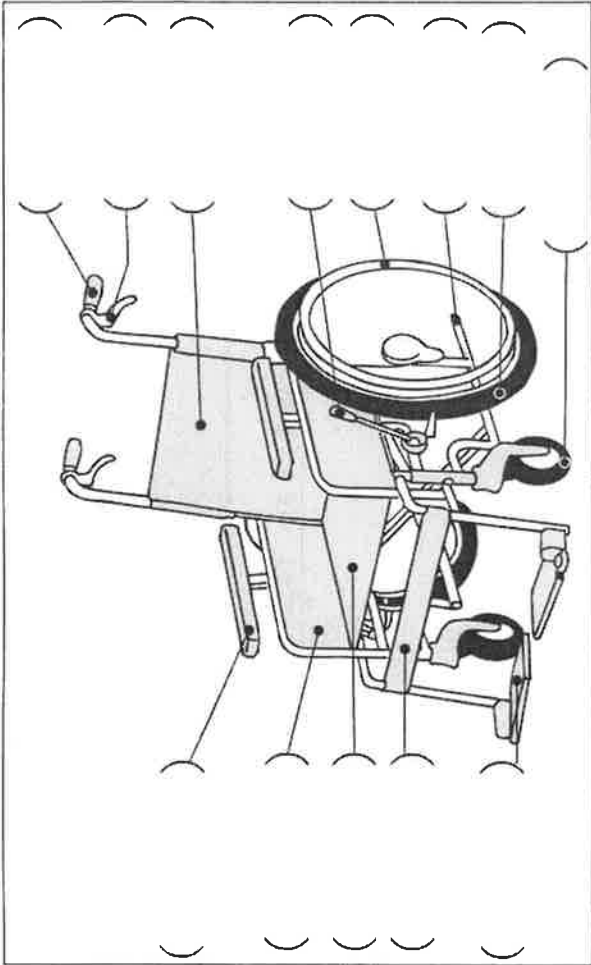
A 氏の自宅平面図(概略)



単位: mm

*図内の数値は高低差を表しています

(10) 車イスの各部分の名称を記述しなさい。(各1点)



(11) 食事の意味について、身体面、精神面、社会面から、それぞれ記述しなさい。(各3点)

身体面	
精神面	
社会面	

(12) 嚥下の過程(5期)について記述しなさい。(各1点)

① 先行期	
② 準備期(咀嚼期)	
③ 口腔期	
④ 咽頭期	
⑤ 食道期	

(13) 入浴の意義・目的について5つ記述しなさい。(5点)

(14) 排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担と留意すべき点について200～300字で記述しなさい。(5点)

--

(15) 便秘に対するケアを12個記述しなさい。(5点)

快適な居住環境整備と介護

追加課題

2、自宅の家屋及び周辺図を作成し、自分が右半身まひで生活をする場合の住宅改修、福祉用具をどのように活用するかを考えなさい。

令和4年度介護職員初任者研修 通信課程評価

	講義名	介護の基本	老化の理解	認知の理解	快適な居住環境	障がいの理解	死にゆく人	平均点	可否
	提出日								
	講義日								
1								#DIV/0!	合格
2								#DIV/0!	合格
3								#DIV/0!	合格
4								#DIV/0!	合格
5								#DIV/0!	合格
6								#DIV/0!	合格
7								#DIV/0!	合格
8								#DIV/0!	合格
9								#DIV/0!	合格
10								#DIV/0!	合格
11								#DIV/0!	合格
12								#DIV/0!	合格